

第2号

公共施設再配置 長穂かわら版

【発行】行政改革推進室 TEL:0834-22-8202

第2回ワークショップを開催しました！

平成28年2月14日（日）に、長穂公民館において長穂地域モデル事業の第2回ワークショップを開催し、地域の皆さんと徳山工業高専専門学校専攻科環境建設工学専攻の先生に市職員を加えた、54名が集まりました。

今回から複数のグループに分かれて検討を行うグループワークを行いました。

今回のグループワークでは、参加者の皆さんに、改めて「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう」ということで、「長穂の良いところ、好きなところ、自慢できるところ」や「長穂の気になるところ、不足しているところ（問題点）」等について話し合いました。

各グループとも良い雰囲気の中、活発な意見交換、話し合いがなされ、その後、グループごとに出される意見の発表を行いました。

グループ発表の際には、1番目に発表しようと複数のグループから手が挙がり、参加者の皆さんの熱意が伝わってきました。

なお、各グループのグループファシリテーターは市の職員が務めました。

第2回ワークショップのプログラム

開催日：平成28年2月14日（日）（午前9時30分～午前11時30分）

- 第1回ワークショップのおさらい
- 長穂地域に関するデータなどの共有
- グループワーク、発表方法等の説明
- グループワーク「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう」
 - ①自己紹介
 - ②長穂の良いところ、好きなところ、自慢できるところ
 - ③長穂の気になるところ、不足しているところ（問題点）
 - ④長穂の良いところ等を維持するためにやるべきこと、問題点を克服するためにやるべきこと（課題）
 - ⑤課題に対する具体的対策
- グループ発表
- ふりかえり、わかちあい
- 今日のまとめ

第3回ワークショップのご案内

日時：平成28年3月13日（日）10時～12時 ※次回は10時から始まります

会場：長穂公民館2階 大講座室

内容：「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう」（予定）

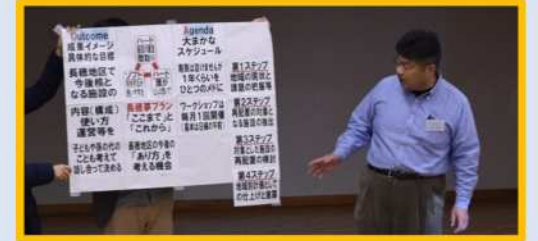
- ①第2回ワークショップのおさらい
- ②公共施設再配置に向けたアンケートの実施
- ③グループワーク「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう（その2）」

第3回からの参加も大歓迎です♪

参加希望・欠席に関する連絡先：長穂支所（88-0401）

○第1回ワークショップのおさらい（総合ファシリテーター 上野さん）

ワークショップの最初に、第1回目のおさらいを行いました。ワークショップの各回では、まず前回のおさらいから行き、次のテーマ（検討内容等）にスムーズに取り組めるようにします。



○長穂地区に関するデータなどの共有

市広報「しゅうなん」の1月1日号と一緒に長穂地域の全戸に配布した「長穂地域データブック」の内容について、改めて行政改革推進室の道源主幹が説明を行いました。

この「長穂地域データブック」は、市のホームページで見ることが出来ます。

○グループワーク、発表方法等の説明

今回から、決められたテーマに沿って班ごとに検討を行う『グループワーク』をはじめました。

はじめに、グループワークの流れについて説明を行い、グループワークの進行を務めるグループファシリテーターの紹介をしました。



【ファシリテーターとは】
皆さんの話し合いがより良く進むように話し合いの場を促進・支援する人のことです。

※研修を受けた所属の違う職員がチームを組んで、グループファシリテーターとして、話し合いのお手伝いをします。

○グループワーク 今回のタイトルは「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう」

グループワークは7つのグループに分かれて行いました。各班とも参加者の自己紹介をした後に、次のテーマに沿って検討を行いました。

会場は皆さんの活発な発言によりにぎやかな雰囲気になっていました。

<グループワークのテーマ>

- ◆ 長穂の良いところ、好きなところ、自慢できるところ
- ◆ 長穂の気になるところ、不足しているところ（問題点）
- ◆ 長穂の良いところ等を維持するためにやるべきこと、問題点を克服するためにやるべきこと（課題）
- ◆ 課題に対する具体的対策



グループワークの様子



○グループ発表

グループワークの終了後は、各グループから出された意見を発表していただきました。ここでは、各グループによる発表の様子とその内容について紹介します。
 ※各グループワークで出てきた意見を掲載しています。

【1班の発表】



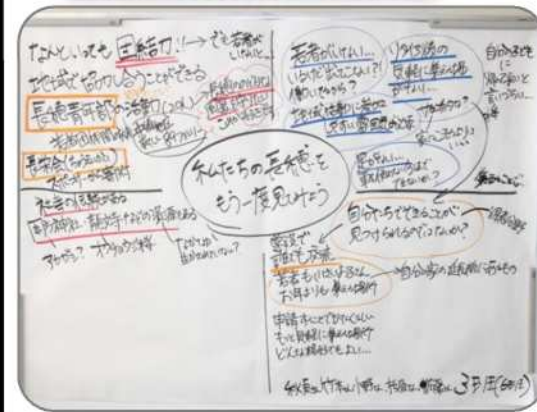
長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
車があれば、交通の便が良い	道が良く、通り越してしまう(315号線)	
・景色が良く、気分が良い ・田、ダム湖の紅葉、錦川	特徴のない産業や景色	花を植えるなど、見どころを創っていく
災害が少ない		
空き家はあるが、新たな入居者も多い	高齢者が入居することが多い	田舎暮らし体験の実施。体験住宅の整備
人の繋がり、まとまりが良い	農業的なまとまりがない。 農作物の統一規格でのブランド化ができていない	H28年度に法人化を進めている
青年部活動が活発で、コミュニティに参加している		
・多くの住民が氏神様(周方神社)を守っている ・亀山	亀山の管理が大変	
温泉がある	井戸を掘りたいのに、温泉が出てしまう (金属の問題で飲み水に適さない)	
龍文寺や念仏踊りは地域の宝	どうやって継承するか問題(以前は中学校が行っていた)	
ダムがあり、水に困らない		
日本で最初に運用が開始された多目的ダムがある		
長穂地区の気になる点、不足している点(問題点)	問題点を克服していくための課題	その対策
獣害。イノシシ、シカ…	周囲が材木(杉)の林で、動物の食糧がない	里山を整備しないといけない
人口減少、少子化	若い人が、世代を超えて近くに住めれば… ・長穂で子育てしたいと思える地域に ・0~2歳児は街の保育園に行っており、子育て世代としては住むのが大変	・集合住宅 ・移住フェアなどへの参加(移住受入のアピール) 子どものための住民による協力体制
道路の草刈に手が回らない		

【2班の発表】



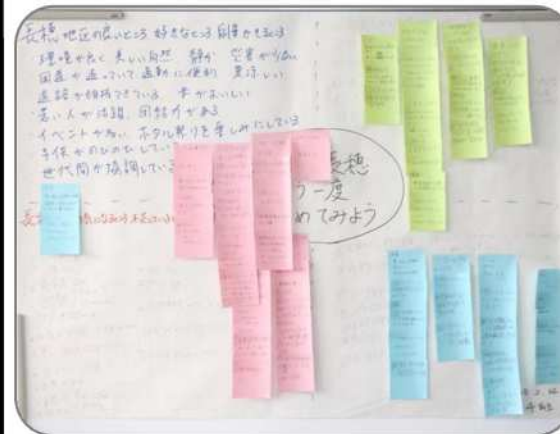
長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
特産品(ルバーブジャム、菊芋)	・継続が難しい ・なかなか儲からない	・スポンサー制度がないか ・ゴルフ場やまちなかでの販売
北部地区では平坦地が多く、産業の発展可能性が見込める		圃場整備事業を活かす
危険箇所はあるが、災害は少ない		
通学時における地域の見守り隊	・子どもの面倒をみてあげたいが、安全面が心配 ・菊川のようにもう少し、しっかりした組織にして継続を図りたい ・他の地区とも協力していかないと長穂だけでは無理	行政は立ち上がりまではやってくれるが、継続が難しいので、やることを絞っていく
世代を超えたつながり、協力がある(草刈りとか)		
干渉はしないが、気にかけているという雰囲気		
青年部が良く活動している (ホテル祭り、泥んこパレーなどのイベントが盛ん)	・今は良いが、今後続いていくかどうか心配 ・いつも表に出ている人だけでなく、裏方を活かす	トップの人の判断力、決断力が必要 (嫌われることも覚悟の上)
県の無形文化財念仏踊り		
ゴルフ場が2箇所など楽しめる場所がある		
ダムがあり、水に困らない		
日本最古の多目的ダムがある		
長穂地区の気になる点、不足している点(問題点)	問題点を克服していくための課題	その対策
空き家があっても貸す人が少ない	空き家を貸せる状態にするための改装費用が多額になる	空き家の改装に対する補助の拡充
結婚・就職で地区外に出る人が多い	須金のような仕事場があれば、働く人が増える	・圃場整備を行い、機械化を図る ・手がすいた人が他に知恵を出して、新しい仕事を作り出す
人(特に子ども)が少ない		他市の事例で老人ホームと保育園が一緒になったような施設
気軽に話し合いができる場所がない		回診制度の導入
眼科、耳鼻科などの身近な病院がない(通院が大変)		

【3&6 班の発表】



長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
アカガシ・オクチョウジ桜など貴重な自然がある	貴重な自然を地域振興に生かしていくこと	
長穂地区ののどかな風景		
長穂青年部の活動（若者団体との交流） 地域の方の協力なしには成り立たない	現在メンバーは20人程度。担い手不足を懸念	
地域住民の団結力		
長栄会の活動（スポンサーからの寄附を集めるなど）		
周方神社・龍文寺の社寺の伝統がある	伝統を活かしていく地域振興に生かしていくこと	
長穂地区の気になる点、不足している点（問題点）	問題点を克服していくための課題	その対策
生活交通の不安（自動車の運転できない人もいる）		
若者がいない（子どもが少ない）	地域活動に参加しやすい雰囲気が必要	
それぞれの活動団体の担い手が不足している		
自分の子どもに長穂に帰ってこいと言えない （子どもが帰ってきたときに不便な思いをさせたくない）		
定年退職後の気軽に集まることのできる場がない （自分の家の延長線上にあるような場所）	子どもからお年寄りまでいつでも誰でも交流できる場（気軽に交流できる場があれば自分たちでできることを見つけることができるのではないかと）	今回の支所公民館の建て替えの計画の中で、そういう場所を入れることができればいい

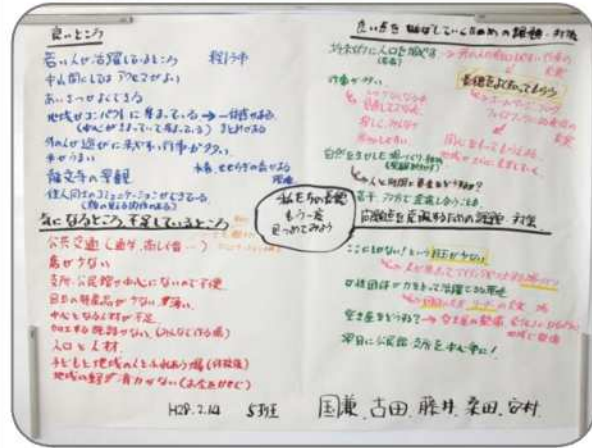
【4班の発表】



長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
イベントが多い、ホテル祭りが自慢、楽しみ		<ul style="list-style-type: none"> イベントを「量」から「質」に 地域以外の人ともコラボレーションする
イベントに協力的、少人数でまとまって活躍しやすい	義務にしない工夫や、楽しんで準備できるイベントにする	他地区からも来てもらえるしくみを考える
道路が維持できている、隅々まで舗装されている		道路補修をボランティアとする
国道が通っていて、通勤に便利、住みやすい		
米がおいしい、野菜作りも楽しい	農業人口を増やす	田舎イコール不便という考え方を考える
環境が良く、美しい自然、静か、災害が少ない	自然を残す	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートから人（自然物）へ 環境維持活動を地域全員で行っていく 農業人口を増やす
思いやりがあって、心がある、温かい人が多い	一ヶ所に集まれるところがあるとよい	世代間の交流を今以上に活発にする
若い人が活潑し、世代間が協調・団結している	若い人を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 世代間の交流を深める 長穂から出ていった人達が戻ってきてくれるようにする
子どもがのびのびと育っている	人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと地域の方の交流を図る 公園や観光地を作り、子どもが住みたい場所に
長穂地区の気になる点、不足している点（問題点）	問題点を克服していくための課題	その対策
空き家がある、高齢者一人暮らしが心配	空き家の活用が必要	<ul style="list-style-type: none"> 空き家も借家にし、周りの地区からの家族にでも入ってもらう。 長穂に住むためのノウハウ集を作る 住みやすい、入居しやすい宅地整備 長穂の良さを周りの地区にたくさんアピールして住みたい場所にさせる 病院の出張所を作る
いろいろな施設が古くなっていく		公共施設配置、まさに本モデル事業
車がないと生活が不便		<ul style="list-style-type: none"> 乗り合い交通も考える（スクールバスの活用） 無料バス
交通が不便、バスが少ない	バスを活用するため、国道315号を通るバスを	バス停を団地内も、315号を充実させる
夜暗い、道が狭い、交通事故が心配	夜道を明るくする	防犯灯をつける
働く場所が少ない、買い物できる場所がない		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が働ける場所作り 長穂にお金が落ちるしくみ（野菜即売等）を考える
子ども、若い人が少ない	若い人が住みやすい環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が転入（結婚、企業誘致、企業家） 少子化ストップ、子供1人出産につき手当を充実 金銭面の不安をなくす
高齢者が多く、力仕事ができない	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を元気に、仕事をあたえる 古いものを補修する 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が働ける場所作り 高齢者が長生きできるように病院に行きやすくする
小学校、中学校がない、学校が遠い		
イベント参加者がいつも同じ人		他地区からも来てもらえるしくみを考える

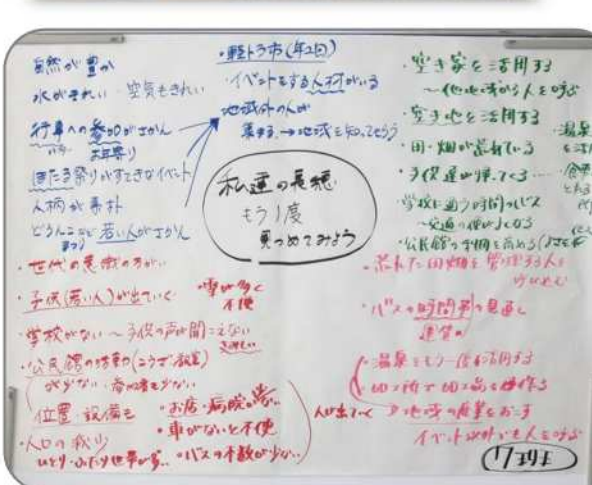
※グループワークで出てきた意見を掲載しています。

【5班の発表】



長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
外の人が遊びに来やすい行事が多い	将来的に若者人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> • 外の人に参加しやすい行事の充実 • 人が少なくなる中、行事を見直してスリム化 • 楽しく、みんなが参加しやすいものへと工夫 ⇒情報発信やイベントへの参加等、外の人に関心をもってもらうことにより、移住や交流など、地域がさらに充実
中山間地域にしては、アクセスがよい	「長穂ってどこ？」って、市民に知られていない	長穂をよく知ってもらうため、ホームページやSNSによる情報発信の充実
米がうまい		
水音やせせらぎの音があり、自然豊かで安らげる環境	<ul style="list-style-type: none"> • 自然を生かした場づくりと維持（景観を生かす） • そのための人手と時間と資金をどうするか？ 	
龍文寺の景観		
住人同士のコミュニケーションができて（顔の見える関係がある）	反面、遠慮し合って、本音が言えないこともある	
あいさつがよくできている地域		
地理的にも人的にも、一体感があり、まとまっている		
若い人が活躍しているところ		
地域がコンパクトに（中心があって）集まっている		
長穂地区の気になる点、不足している点（問題点）	問題点を克服していくための課題	その対策
支所・公民館が中心にないので不便		早めに支所・公民館を中心部に！
通学者や高齢者等の公共交通（一方で、送迎する親子の貴重なコミュニケーションの時間にもなっている）		
地域でお金を稼ぐだけの経済力がない	空き家を生かしていく工夫が必要	空き家を売り物になるように、住めるように、地域住民自身が整備していく
目玉の特産品が少ない、独自性が薄い	<ul style="list-style-type: none"> • ここにしかない！という目玉が少ない • 相談して開発・加工する場も個人宅しかないため、なかなか開発も加工もできない 	自由に人が集まって、アイデアを出し、試作し、工夫する加工所のような場づくり
みんなが相談しながら、開発・加工する施設がない（みんなが特産品を作る場）		
買い物できる店が少ない		
学校休校後は、子どもと地域の人が触れ合う場がない		
中心となる人材が不足している	女性がイキイキと力強く活躍できる環境や雰囲気が必要	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の団体の支援と充実 • リーダーや人づくりの機会を充実
人口と人材が少ない		<ul style="list-style-type: none"> • 活躍できる場づくりや集まれる場づくり

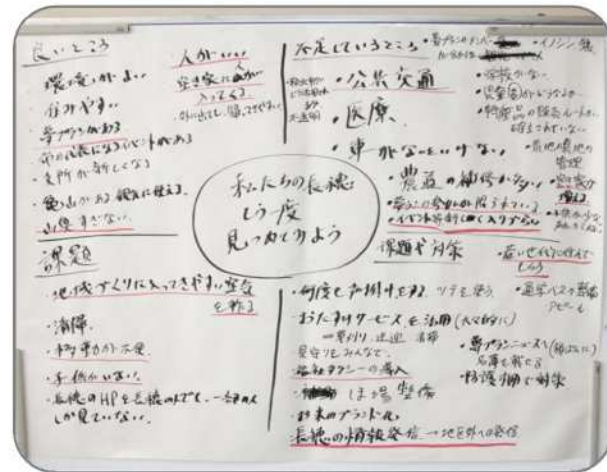
【7班の発表】



長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
ほたる祭り、軽トラ市などのイベントがある	イベントを継続していくこと、人材の確保	
行事が多く、お年寄りなどの参加も盛ん		
イベントで、地域外の人が集まってくる		
公民館の図書館では中央図書館でなかなか借りられない本が借りられる		
自然が豊か		
水・空気がきれい		
人柄が素朴		
泥んこ祭りなど、若い人が活躍している		
長穂地区の気になる点、不足している点（問題点）	問題点を克服していくための課題	その対策
公民館の活動が停滞している	公民館の立地や施設が不便	<ul style="list-style-type: none"> • 公民館の建替え • 公民館の情報発信（館報などで）
人が出ていく 人口が減少していく	バスの本数が少ない	通学時間などバスの時間帯、料金の見直し
	車がないと不便	バスなどの交通の便をよくする
	お店や病院が少ない	<ul style="list-style-type: none"> • 温泉をもう一度活用する • 加工所などで、地域の特産品などを作っていく。 • 食事処の整備 → 地域に産業をおこし、地域外の人を呼び込む
空き家や、空き地が多い	雪が多く不便	他地域からの移住、定住者を呼び込む
田畑が荒れている	荒れた田畑を管理する	管理してくれる人を、他地域からも呼び込む
子供や若い人が地域外に出ていく	子供達が帰ってくる	
学校がない、子供の声が聞こえない		
世代によって、意識の違いがある		

※グループワークで出てきた意見を掲載しています。

【8班の発表】



長穂地区の良い点、好きな点、自慢できる点	良いところを維持していくための課題	その対策
市の代表になるイベントがある	地域づくりに参画しやすい空気を作る	<ul style="list-style-type: none"> • 何度も声掛けをする • ツテを使って周囲を巻き込む⇒人の繋がりを増やす
住みやすい		
夢プランがある		
人がいい		
支所が新しくなる		
長穂地区から外に移り住んでも、帰ってきやすい	清掃	支所の建替え
空き家に人が入りやすい		
環境が良い		
亀山がある⇒観光に使える		
山奥過ぎない		
長穂地区の気になる点、不足している点（問題点）	問題点を克服していくための課題	その対策
翔北中がどう使われるか不透明	長穂地区のホームページを長穂地区住民すら一部のしか見ていない、情報発信が足りない	お米のブランド化
農道の補修が多い		
農地の管理		
特産品の販売ルートが確立されていない		
夢プランメンバーが誰か分からない		
夢プランへの参加が限られている	子どもがいない、子どもを増やす	若い世代に移住してもらう
イベントなどに新しく入りづらい		
イノシシ、猿などの獣害		
空き家が増える		
児童園が今後どうなるか分からない		
町から子供の声が聞こえない	移動が不便	<ul style="list-style-type: none"> • お助けサービスを活用する • 福祉タクシーの導入
学校がない		
公共交通の不足		
車がないといけない⇒高齢者にとって大きな問題		
医療の不足		

※グループワークで出てきた意見を掲載しています。

○ふりかえり・わかちあい

各グループの発表が終わると、本日の「ふりかえり、わかちあい」として、グループの皆さんでグループワークについての感想や意見を話し合いました。

各グループの皆さん、はじめにあった緊張もなくなっており、笑い声も交えながら感想を述べられていたのが印象的でした。

